

町内の遊休農地面積はどのくらい

答弁 農地利用状況調査では136ヘクタールです

問 農業従事者の高齢化や後継者不足など、農業を取り巻く環境は厳しく、特に中山間地域においては、自家消費のための野菜等を栽培している程度の農地が多く、それ以外の農地は何の作物もつくられていません。そのため、毎年ただ除草を行っている遊休農地が発生しています。直近の寄居町の耕地面積と遊休農地面積はどのくらいあり、その把握方法はどのように行っているのか伺います。

答 町の耕地面積は、平成27年度農林水産省統計で1290ヘクタール。農業委員会が実施した利用状況調査では、遊休農地は136ヘクタールです。この数値には保全管理している農地は含まれていません。

農地中間管理機構の取り組み

問 農地中間管理機構における町の取り組みについて伺います。

答 平成27年度より、赤浜地内の旧塚田土地改良区において実施しています。今後も普及に向けて推進していきます。

問 水田の転作としてヘアリーベッチ(*6)等の種代の助成と、遊休農地後作対策補助事業として果樹苗の補助が行われていますが、実績と成果を伺います。

答 農地8.4ヘクタールの種代と、農地2.1ヘクタールに果樹苗450本の補助を実施し、農地の保全が図られました。引き続き補助していきます。

問 景観作物の作付け導入は行われるのでしょうか。景観作物の方向について伺います。

答 現在行っている種子助成等で、よりよい景観を形成していきます。



荒れる遊休農地

ことば (*6)ヘアリーベッチ…マメ科の1年草または2年草。ピロドクサフジの和名もある。地中海地方原産で、主に寒冷地向きの緑肥または牧草として栽培されています。



問 東京オリンピック・パラリンピックにおけるブータン王国の事前合宿誘致に取り組み、協定を締結しましたが、子どもたちとの交流事業について伺います。

答 今後、継続的に陸上選手等を受け入れ、学校訪問や交流イベント等を行い、国際感覚を身につける一助としたいと考えます。

問 町民へのブータン王国の周知・啓発について伺います。

答 今後は、町民理解促進のため文化講演会等の開催を考えています。

問 ミケ山運動公園の整備・活用方法について伺います。

答 選手の練習場や交流イベント会場等としての活用を考えています。また、改修や整備等が必要となった場合には、施設管理者である埼玉県と調整していきます。

姉妹都市協定締結後の交流は

問 10月1日に八王子市・小田原市と3都市間の姉妹都市協定を締結しました。今後の2市との交流事業は。

答 無理のない交流を進めるとともに、平成29年度から各市町のイベント等への相互招待を実施します。また、推進するに当たり、少しずつ関係団体等も拡大していきたいと考えています。

問 鉢形城公園・歴史館でのイベント開催、鉢形城グッズの開発について伺います。

答 イベント開催は、今後、必要に応じて検討します。今後、担い手や商品開発等を含め検討していきたいと考えます。

ブータン王国などとの交流事業は

答弁 文化講演会などを考えています

ことば (*5)ALT…Assistant Language Teacherの略。日本人教師を補佐し、外国語を母語とする外国語指導助手を指します。

大丈夫か、子どもたちの学力は

答弁 県北一の教育タウンを目指します

問 平成28年度に実施された全国学力・学習状況調査では、埼玉県は2年連続で全教科全国平均を下回る結果となりました。寄居町の結果を伺います。

答 結果の公表を行っている県内62市町村中、小学校の国語A・Bが5位と13位、算数A・Bが17位と10位。中学校では国語A・Bが53位と50位、数学A・Bはともに53位でした。また、小学校では全54問中23問(42.6%)、中学校では全93問中6問(6.5%)で全国平均正答率を上回りました。

問 昨年に比べ、小学校では大幅な改善が認められますが、中学校は厳しい状況です。その要因について伺います。

答 小学校では授業の改善の効果があらわれ始めましたが、中学校は小学校から中学校へ進学する際の環境変化に対する橋渡しに、課題の一端があると考えています。

中学校英語教育の目標は

問 ALT(*5)を増員して英語教育の推進を図っていますが、目標を伺います。

答 中学校卒業時に、全生徒の50%が英検3級を取得することを目標にしています。

問 町の教育予算の割合は全体の約7~8%台であり、県内類似団体より低めようですが。

答 教育は28年度の重点施策の筆頭であり、次年度以降も重要であると考え、予算づけを行います。

問 町の学校教育に対する目標について伺います。

答 結果だけではなく、過程を大切にしたい上で「県北一の教育タウン」を目指します。



子どもたちの学びあいで大きな効果が

ことば (*5)ALT…Assistant Language Teacherの略。日本人教師を補佐し、外国語を母語とする外国語指導助手を指します。

寄居町の今とこれから
一般質問

今回は9名の議員が質問しました

寄居町のさまざまな課題等について、議員が町に考えを聞くのが**一般質問**。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。ここでは、全質問項目(下表)と、質問した議員ごとに1項目を要約してお知らせします。

町の姿勢	国内外の交流事業の取り組み	佐藤	P.9
	農林業振興ビジョン作成の取り組み 「非核平和都市宣言」の町にふさわしい平和の取り組み	中嶋 田母神	
くらし	遊休農地の解消	中嶋	P.9
	町有地の活用による発電施設等の設置	石井	
	玉淀、雀宮公園の公有地化	石井	P.11
	町有地の有効利用	津久井	P.12
子育て支援・定住促進	若者世帯への定住促進の取り組み	佐藤	
	第2回街コン後の対応	神田	
	「子育てするなら寄居町」といえる保育・学童保育の充実	田母神	P.10
	子育て支援策のさらなる充実 空き家対策	鈴木 大澤	P.12
福祉・医療	健康長寿事業の状況	峯岸	
	子どもの貧困	大澤	
	あらゆる人たちの政治参加	鈴木	P.11
	高齢者支援	鈴木	
教育	小・中学校の学力向上は成し遂げられたか	峯岸	P.8
	コミュニティ・スクール導入の取り組み	佐藤	
	小・中学校のトイレ便器の洋式化率	津久井	
安心・安全	通学路を含む、町内道路全般の安全対策	神田	P.10
	町内に点在する看板や商店街の街路灯の老朽化対策	神田	
	駅前駐輪場	田母神	
	獣害対策	大澤	
	交通安全対策	津久井	